



11/15・16

議会運営委員会

視察研修報告

先進地で学んできました!

議会運営委員会は、少子高齢化や人口減少により全国的に大変厳しい状況に置かれている「地域公共交通」をテーマに、栃木県的那須町と芳賀町を視察しました。

那須町では町民バスやデマンド型乗合交通の整備に加えて令和5年10月より定額タクシーサービスの実証運行を行っており、学生や高齢者等の車を運転できない方でも広大な那須町で暮らし続けられるようにと、様々な対策を練っていました。

芳賀町では芳賀・宇都宮LRTが令和5年8月に開業し、その洗練された外観と話題性から、地域住民や通勤者のみならず観光客の利用も多く、地域の交通手段に留まらない活用も目指しているとのことでした。

両町とも有意義な視察研修となりました。



11/27・28

総務経済委員会・厚生文教委員会

11月27日・28日、総務経済委員会・厚生文教委員会は、1日目に各委員会の懸案事項となっている事業の先進地にそれぞれ赴き、2日目は合同で茨城県境町を視察しました。

1日目、総務経済委員会は、統合小学校が開校することで問題となる旧小学校跡地の利活用について検討するため、栃木県市貝町の旧小貝中央小学校跡地を視察しました。市貝町では住民の思いが詰まった学校の跡地をNPO法人や地元サッカークラブ等に貸し出し、町民の財産として有効活用していました。

厚生文教委員会は、茨城県大洗町にて町立南小学校・南中学校の視察を行い、教科教室型システムを採用した教育環境や教育方法、小学校・中学校併設型の小中一貫教育について説明を受けました。実際の教室や授業風景も視察し、今後の議論の参考となりました。

2日目の境町では、財政改善・資金確保のためにふるさと納税を意識した取り組みを積極的に進めており、特産品を生み出すアイデア・商品化するスピード等、大変勉強になる視察内容でした。その他にも、世界レベルのアーバンスポーツパークの整備、自動運転バスの導入、全小学校への実践的な英語教育の導入等、魅力的な地域づくりで移住者の獲得・定住に繋げていました。

このたびの各町の研修で得た知見を、村の発展に生かしていきたいと思っております。



厚生文教委員会 (茨城県大洗町)



常任委員会合同視察 (茨城県境町)